



新廃対第1784号

平成26年9月4日



新潟市清掃審議会
会長 松原 幸夫 様

新潟市長 篠田 昭



し尿・浄化槽汚泥収集の今後のあり方について（諮問）

このことについて、下記のとおり諮問いたしますので、ご審議のうえ答申賜りますようお願いいたします。

1 諮問事項

し尿・浄化槽汚泥収集の今後のあり方について

2 諮問理由

し尿及び浄化槽汚泥については、生活排水処理基本計画に基づいて収集・処理を行っていますが、下水道等の普及などに伴い、収集量は年々減少しています。

しかしながら、バキューム車の台数は収集作業に必要な台数を上回る過剰な状態であることから、非効率的な収集体制になっています。

結果として、収集業者の経営は不安定なものとなっており、業者間の格差が生じるだけでなく、市民サービスの格差にも繋がるのが懸念される状況にあります。

一方、公共サービスであるし尿及び浄化槽汚泥の収集については、今後も規模を縮小しながら、継続して行っていかなければなりません。

このような中、将来に渡って安定的な市民サービスを確保し、かつ収集業者の経営の安定も図りながら、し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理していくための方策について検討することといたしました。

つきましては、上記諮問事項について、幅広いご見識と市民の視点から、ご審議願いたく、諮問いたします。

3 答申希望時期

平成26年12月末